

JMA レフェリーより報告

①反則に対しての対処

※故意による反則、過失による反則に関わらずルール上、反則とされている行為に対してレフェリーが取る対処として以下の手順で対応させていただきます。

1. 口頭注意
2. イエローカード
3. イエローカード及びレッドカード

1-1

故意、過失に関わらず口頭注意となります

2-1

同種のルール違反の場合はイエローカード、異種のルール違反の場合は口頭注意

3-1

ルール違反の悪質性によってはレッドカードを持って試合を止めます

◎イエローカード -1 点。レッドカード 反則負け。

レフェリーの立ち位置により、反則行為が見えない場合があります。タイムストップ、ダウンコール中にジャッジ3名＋サブレフェリー1名が異議申立を行い審議を行い正式な判定を下します。

◎反則とは

下腹部への攻撃、バッティング、投げるなどによるルール違反、MUAY①ルールでのワンキャッチ ワンアクション以上の攻撃などルールで禁止されている行為を指します。

◎異議申立てはレフェリーの判断をジャッジ3名＋サブレフェリーで行う物であり、セコンドや選手からの異議申立ては受付ていません。ボディーに当たりダウンなのか、下腹部への攻撃なのか ... 判断が難しい場面があります。

②ノーコンテスト

2R 制の場合、過失により試合続行が不可能な場合はノーコンテストとなる。上記によりレッドカードが与えられるケースにおいては反則負けとなる。

トーナメント、3R 制の試合では過失が起きる前までの判定により勝敗を決定します。